

モルゲンロート-13

- P1 「議長の謝罪」
- P2 後付け補助研究等 P4 サポカー補助等
- P6 21年度予算審査における質疑・意見
- P7 議会改革の案です(1)
- P10 選挙費用等 P11 この1枚(写真)
- P12 読者の声、編集後記

本誌1面は、右HPのブログ「モルゲンロート」の20.9～21.2月で、閲覧数が多かった記事のひとつを紹介いたします

3月27日現在で、多かった順は次のとおりです

| | |
|----------------------------------|--------|
| 「なぜ、公開しない？(議員活動)」(10/7) | 閲覧数 75 |
| 「答申の案を示す？」(10/7) | 〃 67 |
| 「議長の謝罪」(12/3) | 〃 40 |
| 「議会だより保存版作成(号外はたぶん掲載しない)」(11/30) | 〃 38 |

「議長の謝罪」(一部略、少し修正)

令和2年12月3日の議会運営委員会終了後の、議会廊下で、足立義明議長が「議長室に来ないな」ということで、おじゃましてコーヒーを頂きました「議会の公開など、杉村宏議員からすれば物足りないかもしれないが、少しずつだが、進めている

また、平成30年3月発行の議会だよりの号外は、議会だよりの発行責任を引き継いでいる岩美町議会議長として、不適切な発行であったと、いつだったかあなたに謝罪した。このことは公(おおやけ)にしてもらっていい

内容についても、岩美町が保有していたとする買参権に関する権利と町行政は説明してきているが、税理士にも確認し、杉村議員の言うとおり、町の決算は誤りであった。」などと言われました

号外発行は、平成30年1月当時の議会運営委員会芝岡みどり委員長、川口耕司副委員長、澤治樹委員、寺垣智章委員、柳正敏副議長、船木祥一議長が決定したものです。(参照:HPの2018年1月5日の議会運営委員会会議録)

号外内容の編集は、議会だより調査特別委員会の、田中克美委員長、芝岡みどり副委員長、柳正敏、日出嶋香代子、田中伸吾、川口耕司、宮本純一、寺垣智章の委員6名によるものですが、ほぼ田中委員長の作成されたもののようです

(参照:HPの2018年3月1日の議会だより号外)

杉村宏議員は、号外が現わそうとした真偽について、若い方々にも信頼される公正な岩美町の

第13号 2021年(令和3年)4月3日(土)

杉村ひろし後援会活動通信誌、春秋発行原則全戸配布

連絡先 浦富1690番地1 杉村宏 TEL 0857-72-0981

<https://uradome.grupo.jp/>

(上記HPに本誌等を日々掲載しています)

HPのクイズ4択(FC)からひとつ、

「サルスベリ(百日紅)は、いつの時代に

日本列島に渡来した？」平安 織豊 江戸 明治

答えは、P12の編集後記のなかに記載しています



将来のため、岩美町内のみで通用させようとする誤ったメンツの押し通しではなく、世間に通用する開かれたあたりまえのために立ち向かってきたし、これからも立ち向かいます。一人で、いつでも

号外を町民の皆様へ平成30年3月に配布し、その1年半後、令和元年9月になって不適切な発行であったとして町議会HPから人知れず削除し、配布を受けた町民の皆様へ何の説明も行っておらず、なかったことと、知らない顔をして、指摘されないようにしている無責任な言動の議員は前記の方々です。足立議長とは異なり、号外発行に関わられた方々からの謝罪はありません

杉村宏議員の家族も号外発行のストレスによる病気で苦しみ続けている現状があります

杉村宏議員は、発行から3年以上も経過していながら、いまだに、号外を出されるような悪いことをした議員との言われ方をされているよと聞きますし、人権侵害、選挙妨害にもかかわるような選挙直前期に発行された号外は、取り返しのつかないことで、発行に関わられた議員は、公人として議員辞職と報酬返還が自らの責任の取り方だと考えます自分ならそのような選択を行います



2021/03/23

(R03.03.23 町浦富の下町(しもまち)の「アネモネ」) **EIL13P1**

＜2020年12月15日 杉村宏議員一般質問＞

(議事録等:HPのブログ「モルゲンロード」20.12.15)

1 衝突防止対策後付けの町補助は研究

杉村 地域高規格道路の整備により、交通安全対策特別交付金の支給されない町、交通事故が少ないと認定されているような状態だ

国鉄の岩美駅が圃場の中にぽつねんと設置されて以来、地盤が軟弱な駅周辺に現在もなお中心市街地が形成されている途上だ。本町の特徴は、市街地が少なく、大方が郊外的だ。交通事故の発生場所は市街地が多く、郊外では散発的だ

路線バスなどの公共交通のみに頼る生活は、相当不便だ。多くの方が生活交通手段として自家用車を利用されている。高齢者に対する衝突防止対策 100%の町を目指し、安全に運転できる「運転寿命」を少しでも延ばしたい

運転免許を返納され、買物など荷物が生じる生活交通に路線バスを利用することは、体力面等で多くの方の利用は困難ではないか

町長 運転免許証の返納を促進するため、1万円相当のタクシー乗車券、あるいはバス回数券を交付している。バス路線沿いの方でも、タクシー乗車券を希望される方がいる。体力面で不安があると感じる方もいらっしゃるんじゃないか

杉村 シニアカーでの移動、買物は、歩道が整備されている一部を除いては推奨しにくい

町長 役場と浦富ICの間の歩道は、車道部分より歩道が高く、施設入口部分が斜めだ。シニアカーで転落や横転に注意が必要な歩道もある

杉村 安全な自家用車利用を可能とするため、国のサポカー補助金を受けた後の本人負担部分の町補助を行い、高齢者に対する衝突防止対策等100%で「運転寿命」が延びた町としたい。自動車メーカー各社は続々と後付け安全装置を登場させている。市内の民間業者は、急発進抑制装置設置に対し、4万4千円のところ国の補助金2万円、差引き2万4千円の負担で後付けする。町内業者にも対応いただき、国補助後の本人負担部分を町補助とし、高齢者に対する衝突防止対策を段階的にでも行いたい

町長 後付けも国補助があり、考えてない

杉村 高齢ドライバーが事故を起こすと、被害者や世間の怒りは本人だけでなく、家族にも向き

がちだ。責任を感じ、苦悩する家族は非常に多い。山間部も有する岩美町の状況から、自動車の運転の必要性は、とりわけ重要だ。本人やご家族の苦悩を岩美町内では、決して発生させたくない

75歳以上の運転者の事故原因は、4割がアクセルとブレーキの踏み間違いなどの操作ミスと言われている。一方、自賠償保険料が、今年4月に下がり、来年4月にも下がる見込みだ。自動ブレーキなど、車の安全性能が向上して事故が減少傾向にあるからだ

対応車種は200種以上の後付け装置の国補助後の本人負担を、段階的にでも。再度、どうか町長 老人クラブの皆さん等と話をし、上乘せ補助の研究をしてみたい

杉村 岩美駅周辺の高齢者専用駐車場の検討として、岩美駅東側の岩井軌道跡地活用はどうか

町長 土地形状や利便性、特に土地の形状を考慮し、駐車場としての利用は適さない

杉村 岩井軌道跡地のみではなく、一部JR用地も併せた検討はどうか

町長 踏切すぐで、入り口ということになれば、事故等の問題もあって、すべきではない

杉村 何らかの岩井軌道跡地の活用も考えたい

岩美駅の西側の自転車駐輪場の、使用状況等を踏まえ、可能であれば駐輪場の縮小と自家用車の駐車場の拡張整備はどうか

町長 改めて、駐輪場の利用状況等をよく調査し、仮に規模を縮小しても利用に支障がないなら、有効活用の観点から、高齢者も含めた岩美駅を利用される皆さんの駐車場への一部転用について、来年度に向けて調査等を進め、検討したい



(R03.03.19 網代地区の先網代の「木蓮」)

2 ICTでも自由にやるイメージではない

杉村 1月には小・中学校4校全てに児童・生徒1人1台の情報端末が整備される。これで、文部科学省の2020年GIGAスクール構想を岩美町の学校教育で現実のものとしていかなければならない

年度内にネットスピード確認の授業はどうか
教育長 不具合がないかどうか、試してみたい

杉村 状況や、児童・生徒の感想などをケーブルテレビの生中継で保護者や、町民全体に、ICTを活用した授業を周知する公開授業を行わないか

教育長 CTVの生中継を学校でというのはできません。撮影はいけないという子どもも若干名ある
ただし、保護者に、それを使った授業を見てもらうべきだ。タブレット端末を使った公開学習をするよう学校にお願いする

杉村 早めに、できる範囲内で、新たな教育現場を、町民全体に理解していただきたい

デジタル学習教材はどのようなものか

教育長 教科書に準拠したドリルなどの内容を電子化、デジタル化したものだ

杉村 「すらら」というデジタル教材で、小学1年生から高校3年生までの教材だ。前学年や先の学年の、中には中学生や高校生の分まで、しよつと思ったらできる教材か

教育長 指摘のとおりだ

杉村 「すらら」は、帰宅後にネット環境に接続できる家庭であれば自宅でドリルが可能か

教育長 子どもたちは一人一人が「すらら」のIDパスワードがあり、それを使って接続可能

杉村 フォー・オールの考え方が非常に大事だ。家庭にネット接続環境があって、IDとパスワードを使って「すらら」でドリルをやってみようという子どもはできるけれども、家庭にそういった環境がない児童・生徒はできない。そういう現状か

教育長 家庭で端末がない場合、できません

杉村 来年度のデジタル学習教材はどうか

教育長 使用料の半額が県補助だ。県は来年度もこの教材の補助を考えている。今年度使用しているものを継続して使用したい

杉村 GIGAスクール構想は、個別学習で、各人が同時に別々の内容を学習する

教育長 ある子はここを、ある子は別のことをとは想定していない。学校ではそうだ

杉村 ちょっと理解できません。GIGAスクール構想の実現として文部科学省がこういうもの(「GIGAスクール構想の実現へ」の冊子)を作っている。「学びの転換」として、1人1台端末でないときには、一人一人の理解度に応じた学びは困難で、全員が同時に同じ内容を学習する。1人1台端末なら、各人が同時に別々の内容を学習する。そう文部科学省は言っている。どう岩美町の学校教育は転換しようとしているのか、再度どうか

教育長 50問解ける子、5問で一生懸命やっている子、差があるところに教師は一人一人進度を確かめやる。そういう場面を想定している。一人一人が自分の適性に合ったもので学習をする。好きなことを自由にやるイメージではない

杉村 具体的な内容を見ないとよく分からない

家庭でネット接続環境のない児童・生徒に接続できるルーター等の貸与及び情報端末の家庭持ち帰りは実施すべきではないか

教育長 まずは学校内で、学習に活用していく。県はサテライト方式として、地区公民館にWi-Fi設置し、そこでやる。オフラインでもできる学習教材を作る対応も考えている

杉村 オンライン教育の機会の格差で、世帯年収の600万円以上とそれ未満では約半分である分析結果がある。世帯収入など、子ども本人が変えることができない、生まれによって、教育を受ける機会に差がある。教育行政は機会格差の実態を把握した上で、デジタル環境の整備だけでなく、不利な子どもの学習環境を保障するための対策を実施すべきだと報道されている。同感だ(質問時間(30分)切れで、中途半端になりました。)



(R03.03.19 浜浦富の奥内の「白木蓮」)

《2021年3月10日 杉村宏議員一般質問》

(議事録等:HPのブログ「モルゲンロート」21.03.10)

1 サポカー補助は全額を

杉村 サポカー補助は全町民のために全額補助を。町長の施策の大綱に「道路は、町民の皆様が快適に生活する上で最も身近で重要な社会基盤であります。」とある。しかし、目に見える道路だけが社会基盤という認識ではもはやない。最も身近で重要な社会基盤の環境を共有し、その環境に人、車両がいかにして安全に、そして安心してその利益を享受できるようにしていくかを常に考えたい。その上で、岩美町域の特徴や置かれた状況になるべく合った施策が必要だ

2020年6月に成立した改正道路交通法は、75歳以上のドライバーに対し、自動ブレーキなどがついた安全運転サポート車(サポカー)に限定した免許の新設などの安全対策が盛り込まれている。警察庁は、2022年6月の施行を目指し、具体的な制度づくりを進めている

岩美町も高齢者ペダル踏み間違い急発進抑制装置設置費の助成を令和3年度から開始し、後づけで個人負担は設置費用の4分の1となる。自家用車の使用が大変重要である岩美町域において、高齢者ドライバーの安全な運転を向上させる装置の設置は、当該高齢者の利益のみにとどまらず、ご家族や、走行されている当該高齢者ドライバーの前後車両や、病院やスーパーマーケットの駐車場など交通環境を共有する全てのドライバーや歩行者など全体の利益を向上させる

町長 サポカー補助金は、令和3年度から取り組む。

受益者の町民にも一定の負担はお願いしたい

杉村 高齢ドライバーだけではなく、周辺の方々、ひいては岩美町域全体の方々に安全や安心の影響が及んでいく意味で負担はないようにするべきではないか

町長 受益者負担をお願いしたい

杉村 鳥取県に要望しないか

町長 県自体がこの補助制度を、先駆的にやっていたが、廃止した経過がある。復活する可能性はないと判断する。県に申し上げるつもりはない

杉村 第8期高齢者福祉計画で、75歳以上の方が令和3年 2,213人、町民の19.9%、大体20%ぐらいだ。スーパーマーケットに近いところばかりが

岩美町ではない。一桁国道等を使われている。病院の駐車場にも来ておられる。ペダル踏み間違いが仮にあった場合にもサポートする車両に乗っていただきたい

2 下水道対策事業は行き詰まり

杉村 平成27年12月に集落排水処理施設の公共下水道接続に向けた検討調査を行うと過疎計画の中で明記されている。平成29年3月議会の29年度当初予算の質疑の中で、集落排水基金の数年後の底つき見込みと、対策として公共下水道への接続検討の説明があった。その約4年後、今年2月に開催された全員協議会で「集落排水基金は令和7年度には基金残高が底をつき」とあり「財源不足を基準外借入れにて計上しております。」と資料に書いてある。財源不足を町民の税金である一般財源で賄おうとするものだ。岩美町の下水道事業の使用料の額は全国でも相当に高い。その上に、基準外の繰入れを行おうとしている。繰入額の多少にかかわらず、実質的な使用料の増を見えにくいところで行うものだ

平成29年から今日までの4年間、町民にお示しできる対策の実施内容はなにか

町長 集落排水の公共下水道への接続も選択肢の一つだ。関係集落へ担当課長が説明し、関係者の皆様からは様々なご意見をいただいた。なかなか話が前に進まない状況だ

杉村 この4年間において、議会に対して、行政が対策の内容を協議した事実はない

町長 検討段階で、方針決定していない。議会に状況等の説明できる段階になく、説明していない

杉村 時間がたてばたつほど問題は深刻化する



(R03.03.19大岩地区の大谷1区の「アネモネ」)

3 旧病院の土地は町営住宅用地？

杉村 旧病院等の町営住宅用地利用は熟慮すべきだ。公営住宅の世帯数は、現在 224 戸で 2030 年 206 戸、2050 年 156 戸の推計だ。これらに基づき町営住宅建替え実施計画の策定がされる

一方、旧病院等処分で用地6033㎡、現有の公営住宅用地の1割以上の土地が町営住宅用地としてさらに必要とされている

公営住宅の施策対象世帯数の減少見込みを持ちながら新たな土地を求めようとしている。相当な熟慮が必要だ

旧病院等の土地 6,033 ㎡の不動産取引の指標となる公示価格相当の見込額はどうか

岩美病院事務長 約1億 1,623 万円だ

町長 現段階で、旧岩美病院等敷地を町営住宅立替え用地として決定しているわけではなく、選択肢の一つだ

(予算審査の分科会(令和3年3月12日審査)報告書に「建替用地について、旧病院敷地は日常生活や交通の利便性も良い場所であり、町営住宅用地の候補地として検討すべきと意見がありました。」とあり、異論はなかったそうです。分科会は、川口耕司委員長、寺垣智章副委員長、委員4名、森田洋子、澤治樹、田中克美、柳正敏の各議員です。寺垣予算審査特別委員会委員長もそのままの報告をされています。杉村宏議員の意見に真っ向から反対されています。)

4 医師住宅は売却を

杉村 医師宿舎解体処分の前に払下げ検討をすべきだ。旧病院等の処分で、岩美駅前地区内で浦富3号医師宿舎を解体処分したいとの説明があった。平成5年竣工で築 27 年の建物が傾き不良物件で 332 万円で解体処分したいとの説明だ

この宿舎土地の公示価格相当額はどうか

岩美病院事務長 544 万円だ

杉村 土地は 544 万円、建物解体処分費で 332 万円、差引、土地建物合わせて 212 万円の価値か

病院事業管理者 そういふ見方もあるとは思

杉村 土地建物で 212 万円なら、(所有を)考えてみたいという一般の方は必ずある

病院事業管理者 興味を持っていただくのであれば、ありがたいが、土地は病院の土地ではないので、踏み込んで、発言するところではない

杉村 町内の住宅は、昭和 56 年6月以降の新耐震基準に合わせて耐震性があるとされる建物が平

成 31 年現在で約 40%だ。60%ほど、4,000 戸を超える耐震基準に満たない建物に多くの町民の方々が住んでいる。この宿舎は耐震基準をクリアして平成5年に建築されたものが、なぜ不良物件と言われなければならないのか

病院事業管理者 過去 10 年近く入居実績がなく、1000 分の6の傾きがある。健康的な面で支障が出てくる。町の税金も投入した医師宿舎を管理できてなかった。一言おわびを申し上げたい

杉村 一言の申し訳ないということで、27 年で壊さなければいけない建物になってしまった、それで済む問題なのか。宿舎の周辺にお住まいの方々にもご理解いただけるものなのか

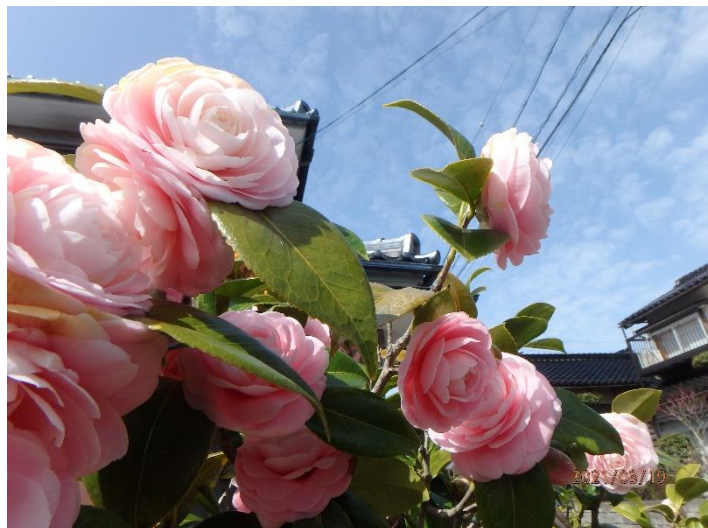
解体して、具体的使用見込みはどうか

町長 定住施策としての売却もあるのではないか

杉村 この宿舎は、土地も含めて払下げや売却の検討をすべきだ。解体するかどうかは、新所有者に判断してもらうべきだ。町役場や岩美病院事務局よりも不動産業者の方々のほうが格段に詳しくより有効に利用するすべをお持ちではないか。土地も含めて売却の検討をすべきだ

病院事業管理者 土地所有である一般会計と協議し、建物と土地を一体とした売却手続をまずは検討し、購入希望がない場合には解体処分を行い、原状回復して土地所有者に返却する

(左記の分科会報告書に「医師宿舎の処分について、長期間利用がなく建物も傾きが生じているのであれば、解体すべきと意見がありました。」とあり、異論はなかったそうです。寺垣予算審査特別委員会委員長もそのままの報告をされています。執行部の答弁や杉村宏議員の意見に真っ向から反対されています。)



(R03.03.19 大岩地区の大谷3区の「椿」)

《令和3年3月12・16日》

2021年度予算案への杉村宏議員の質疑・意見

- 問 歳入の木質バイオマス供給施設等整備事業費
交付金 2535 万円は、そのまま全額を歳出する
予算案だが、平成 29 年に 4057 万円の同様の
予算があり、それとの関連や、本年の事業内容は
課長 施設整備事業者は平成 29 年と同一で、事
業費の15%を支援する。交付金は県支出金だ
が、県の財源は国から支出される。事業内容は木
材チップの製造だ
- 問 介護保険繰出金 2 億 4351 万円は基準内か
課長 すべて基準内の繰出しだ
- 問 退職手当組合負担金 1 億 1068 万円とある
が、要支給額と積立金額の状況は
町長 要支給額に積立金額が 4 億円近く不足して
いる。今後 5 年で解消できる見込みだ
- 問 旧岩美鋤山鋤害防止施設管理費 4538 万円と
ある。求人を行っていたが管理体制はどうか
課長 10 月に退職者 1 名があったが応募があり 1
名採用した。4 月以降は正職員 3 名と再雇用職
員 1 名の計 4 名で運営できる
- 意見 代替バス会計の運送業務委託料 3857 万円
について、以前から指摘しているように(モル 11P
7)委託料の積算が人役数などで必要な説明が
できていない。(委託料内訳:運転手 2542 万円、
管理職員 262 万円、経費 25%701 万円、消費税
350 万円) 関連して、他町では住民による移送
サービスが試行されている。交通計画を策定中
であるが、その進捗は年度繰越となり遅れてい
る。令和 3 年中には改革の方向を出し、令和 4 年
度に反映できるようにすべきだ
- 問 水道会計の退職給付引当金について「職員の
退職手当は、一般会計がその全部を負担するこ
ととなっているため、退職給付引当金は計上し
ていない。」とあるが、企業会計として不適切で
はないか。なぜ、企業職員に必要な経費を一般
会計が負担することとなっているのか。収益費
用が対応していない
- 川口耕司予算審査特別委員会産業福祉分科会委
員長 分科会としての異論はなかった
(分科会構成:寺垣智章副委員長、
委員4名、森田洋子、澤治樹、田中克美、柳正敏)

- 問 病院会計(以下4件も)の旧病院解体詳細設計
等委託料 1597 万円は、旧病院の土地建物を一
体として入札する場合、マイナス入札の可能性
があるが、その場合でも、必要な委託料か
事務長 予定価格設定のため、必要だ
- 問 固定資産除去費 1266 万円の内訳は
事務長 医療機器の除却が 360 万円、宿舍2棟の
解体処分費が900万円だ
- 問 退職給付引当金は、令和 2 年度末の積立金額
9 億 1627 万円、退職手当要支給額 4 億 1342 万
円で、5 億円以上も要支給額を上回る積立金額
がある。積立過ぎだ。病院会計の未処理欠損金
が 10 億 7230 万円もある中で、退職手当組合か
らの返還はできないか
町長 考えていない。退職手当組合で検討した
- 問 退職手当組合負担金 2069 万円は、退職手当
の要支給額を大きく上回る積立金額がある状況
で、更に負担し積み増す必要があるのか
事務長 負担率を千分の5とし低い率を採用して
いる。退職手当組合内部で検討した
- 問 減損損失を認識していないとあり、その理由
が①割引前将来キャッシュフローの総額が②帳
簿価格を上回るためとしているが、では、①②そ
れぞれの額はいくらか。建物解体に1億円以上と
の答弁が議場でなされたいながら、実質的なか
くし負債だ
事務長 土地の公示価格相当額で①1億 1600 万
円、②は、土地 700 万円と建物 8800 万円の合
計 9500 万円だ
病院事業管理者 建物解体費の具体的な額は持つ
ていない



(R03.03.23 岩井地区の長谷の「紅梅」)

議会改革の案です(1)

議会改革として、杉村宏議員の考え方などを、2017年4月17日に発行したモルゲンロード5のP6.7の記事を、再編する形で掲載いたします。次号等で(2)として、追加したいと考えています

議会改革報告書の概略と最近の背景、及び杉村宏議員の意見

平成25年6月11日付けの岩美町議会改革調査特別委員会の報告書(町議会 HP 掲載)における調査の結果及び実施状況は以下の(報)として概略を掲載しています。(当時の委員で現議員は、委員長の柳正敏、委員の澤治樹、田中克美。敬称略)

なお、平成26年7月の改選後に議論を委ねた事項が多くあり、平成29年3月21日現在で、改選後の議論が始まっていないことから、杉村宏議員から検討を開始すべきだとする発言を同日の全員協議会など複数回行いましたが、今後の協議となり、改選後に議論するとして委員長報告に反し、結局、前期4年間(H26～30)では議会を改革する議論は行われませんでした

今期(H30～R4)になり、鳥取県東部町議会議長会の協議の中で、議員報酬の議論を各町議会で行ってほしいとあり、智頭町議会(議員任期満了日 R3.7.29)では住民の理解の無いまま5万円を増額し、条例改正したものの、結局、施行を2年延期しました。八頭町議会(議員任期満了日 R3.4.23)でも議論しかけたようですが、智頭での混乱もあり、改選後に検討を先延ばしされるようです

岩美町議会(議員任期満了日 R4.7.24)では平成30年12月20日に「議員報酬調査特別委員会」を設置し、議員報酬について調査いたしました。杉村宏議員は一貫して、報酬は最後、議員のやるべき改革が先と主張し続けました。7回開催され得るものなしのまま、「議会活動の在り方検討特別委員会」を設置し引き継ぐとしました。(参考:HPの2019.5.23「議会改革調査特別委員会の再設置の趣旨」)

設置時の質疑で平成25年の繰越事項も含めて協議すると提案者の田中克美議員は答弁しましたが、令和3年3月末で25回の開催や町民との意見交換会を3回行ったにもかかわらず、以下のとおり、インターネット中継ぐらいで、ほぼ何も成果がありません。成果の出ない理由は田中克美委員長の進

め方にあると思っています。杉村宏議員は進め方や改革事項の提案を行っていますが、委員長からは無視状態です。会議録の公開も町民の方から提案されたにもかかわらず、3月末現在でできていません。どれほど空虚なものか、ご確認願うことも憚られます。下の(在)は議会活動の在り方検討特別委員会の調査状況です

(杉)は杉村宏議員の意見です。皆様からのご意見がいただければ、修正検討や今後の発言に活かします。ともかく、3ない議会からの脱却を図りたい
3ない議会=修正しない、提案しない、公開しない

(1) 議会事務局の充実・強化

(報) H23年度から専任職員1名配置

(在) 議論なし

(杉) 会議録作成に町民の方のご協力を頂きたい
例:録音データから会議録の1P を千円程度の費用で請け負っていただきたい
(現状:職員作成と業者委託)

(2) 議会中継

(報) H22.9より本会議の一般質問を録画放映

H23.3より町長の施政方針録画放映

H23.8より全員協議会の協議を録画放映

(在) 一般質問を、生中継と YouTube 掲載(3ヶ月間程度)及び録画放送2回

(杉) 全員協議会、本会議の全体を、(昼休憩以外の答弁に窮した場合の準備・協議時間である)休憩中も含めて、生中継及び録画放送及び YouTube 掲載(5年間程度、掲載は無料))の実施



(R03.03.23 本庄地区の向山の「白梅」)

(3) 広報公聴

(報) 議会だより研修積極参加、各議員賛否掲載
(在) 議論なし

(杉) 議員各自の自主的な広報を町民は求めておられる。したがって、政務調査費で議員個人の広報作成費用の一部を認めたい

なお、配布費用を公費負担としないため、各議員年2回までぐらいの配布については自治会のご協力をいただき町公報とともに配布していただければありがたい。(県議会議員は、新聞折込代や郵送代等、相当な額を計上しておられます) お願いするかどうかは各議員の判断とすればいいと思います。杉村宏議員はお願いいたしません

また、現在の議会だよりは、議員が中心となって編集していますが、第三者的な目線での編集が必要です。当面、町民の方に編集委員に加わっていただきたい。議員委員は3名程度(現在8名)でいいと思います

議会だよりは、町公報とは発行する意義が異なります

町広報は岩美町の意志として議会で決まったことなどを執行するために町民の皆様に知っていただきたいことを広報します

議会だよりは、何故そう決定したのかを、議論の経過や中身も含めて、賛成反対の主張の結果、多数決による決定過程をお知らせするものです。これにより反対意見のある主権者も、決定事項にしばらくは従わなければならないこととなります。広報しようとする内容がまったく異なっています

だからこそ、議員各自がなぜそのように判断したのかを知りたいがために、議員各自の自主的な広報を町民は求めておられます

(4) 規律

(報) 葬儀等の会議欠席は、議員各自の判断
(在) 議論なし

(杉) 議会運営委員会の結論が、行政からないがしろにされています。このようなことが、規律を緩ませる姿勢となっていると思います

(参照:HP の20.11.30「議運の権威?丸潰れ」)

(5) 一般質問

(報) 議員各自が更に努力することを確認した
(在) 議論なし

(杉) 岩美町議会の一般質問の実施状況は、H30年で県内町村平均一定例会あたり7.6人のところ5.5人で、15町村中下から3番目

一般質問は議員の議員力を向上させ、個々の議員力が向上すれば、その議会全体の議会力が向上する。その意味で、一般質問を行わなかった場合は議会力の向上がその分図れなかったこととなります

一般質問を活性化させるため、質問者が増加しないのなら、試行的に、質問者の質問時間を増やしてみたい。(例:現行30分→45分)

また、質問しない理由を毎定例会ごとに表明してもらうべきです

議会運営委員会ではこの2件とも否定論に立ち、改善の具体的な方策は示されません

それでも、実績の乏しい方は一般質問を行われなれないと思います(まさに、3ない議会を体現されています。)

前期と今期の一般質問の実施状況(合計)は、HPの2021.3.10をご覧ください。

(6) 調査・研究の推進

(報) 研修会積極的参加 (在) 議論なし

(杉) 議員個々の自主的な研鑽が重要

公費支出の研修は報告を当然に公開すべき

(7) 全員協議会

(報) H23.6月より「正式な協議の場」とした

(在) 議論なし

(杉) (8)で、全員協議するなら、全員協議会廃止



(8) 常任委員会の設置数及び委員の重複

(報) 改選(H26.7月)後の検討 (在) 議論なし

(杉) 総務教育、産業福祉の両常任委員会とし、委員重複で、全員で全部の事項を協議する。委員会の専門性確保は正副委員長が担う

(9) 議会運営

(報) 議会運営委員会等で協議 (在) 議論なし

(杉) 議会運営委員会として、全員で協議

(10) 議会基本条例

(報) 改選(H26.7月)後の検討 (在) 議論なし

(杉) 町民に良さが実感できる条例なら検討

(11) 議員定数

(報) 現状定数12名を維持 (在) 議論なし

(杉) 定数削減。段階的に、現在の12名から9名に、その次、7名に削減(一気に7名に削減も検討、奇数とする。)

これは、①町民の皆様は現定数12名が居なければどうしてもいけないとの存在意義を実感してもらえない。②岩美町地域創生総合戦略で2040年9千人、2060年7,500人の人口目標としているが、町民千人に一人の町議会議員として7名。(国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040年:7,666人、2060年:5,046人)、③前回選挙の投票者数は6198名にとどまっており、投票者数の千人に一人の議員なら、既に6名になっている。④一般質問の実施状況からも、3ない議会を体現されている方々が不在となっても岩美町議会は困りません。民主的運営に後ろ向き発言が少なくなり、3ない議会からの脱却が図りやすくなります

9名の場合の議会構成(議長、副議長、

議選監査委員、常任委員長3名、委員3名)

(常任委員会は重複参加とし、各委員会の正副委員長が担当事項の専門性を主に深める。)

7名の場合の議会構成(議長、副議長、

議選監査委員、常任委員長3名、委員1名)

(12) 議員報酬

(報) 多様な人材確保のため増額が望ましいが、社会情勢から増額は困難で据置。併せて、政務活動費について積極的検討を行う。改選(H26.7月)後の検討

(在) 議員個人の議会活動と議員活動日数・時間数を各議員から報告させ、その集計を意見交

換会で公にしなから、智頭町の増額のような根拠にしたいようだが、何もできていない

(杉) (11) 定数削減と同時進行で町課長程度を上限としての増額(現議員報酬月額228,000円)(例:行政職給料表5級(管理職)の真ん中の47号給の額=371,200円、経過的に行政職給料表3級(係長)の真ん中57号給の額=320,500円 参考:岩美町職員一般行政職の平均給与355,168円(42.7歳)、広報いわみ21.3P12より)

これは、定数削減と同時進行でなければ、町民の皆様のご理解はいただけないと考えています。(考え方として、定数と報酬はリンクさせるべきではないと本来的には考えますが、現実解としての選択です)

民間や行政で主導的立場に居られる程度の有為な方や世の中に打って出ようとされる方々が、選挙の審判を受けていただくにあたり、町課長程度の月収は妥当だと考えています

同時に、報酬額が各議員一律では、働きに応じていないと、町民の皆さんからの強いご指摘を受けています。何らかの対策で増減させる仕組みを前提としたい

(例:議員相互の評価を行い、その評価点は公開し、その結果により期末手当を増減する。議員全員の手当総額は同額とする。各議員の会議出席日数などは集計するだけ無駄。決定機関を構成する各議員の判断により差をつける。評価の公平さは公開(どの議員がどの議員をどう評価したか)することで担保する。)

参考:モルゲンロート5P7:平成29年度:地方公務員(岩美町及び近隣の議員及び特別職・一般職)の(月額)想定年収(年収順)



(R03.03.23 小田地区の小田の「ミツマタ」)

(杉) 政務活動費は、全面公開を前提に前払い支給で、予算総額内の執行。前払いなら議員不適格者の摘発が、全面公開により可能となる

(議会改革報告内容以外の杉村宏議員の意見)

(杉) 費用弁償の即時廃止

県内15町村の内、本会議などの出席に日当を支給しているのは3町(岩美、大山、伯耆)で、大山町・伯耆町は半日当(1300円)で交通費なしだが、岩美町は1日当(2600円)に交通費(バス代)を加えて支給

支給額の例:杉村宏議員の場合:日当2600円、バス代160円×往復、合計2920円

廃止理由は、支給額が、発生している費用額を大きく超えており費用の弁償になっていない。日当は不要。バス代にしても現在の議員はすべて自家用車で登庁されている。自家用車利用なら、職員の通勤手当(2~5千円)は月額2000円で、職員の5分の1ほどの登庁日数なら月額400円、年額4800円となるが、そこまでして支給にこだわる理由がわからない。公共交通機関利用者があれば実額支給すればいい。

岩美町の支給額の概算額(H27年度) 168万円
内訳:日当部分130万円、バス代部分38万円

選挙に要した費用など

次回選挙から、町議会議員選挙においても、費用の一部が公費支出(選挙公営)となりますが、杉村宏議員が実際にお支払いした選挙費用をお示しします。これは岩美町選挙管理委員会に提出した報告書の概要です。併せて、鳥取県選挙管理委員会に毎年提出している政治団体の収支の概要も掲載いたします

令和4年7月に見込まれる岩美町議会議員選挙において、多くの方に立候補いただきたいと考えていますが、参考にしていただければと思います

また、現在の岩美町議会議員は、自営業や農業、議員以外は無職などの方々が多く、男女構成では男性10名、女性2名です。岩美町民の縮図であってほしい岩美町議会には、女性やサラリーマンの方などの、立候補が望まれます。そのような方々でも議員活動ができるような環境にしたいと考えておりますが、議会改革は進んでいません

岩美町の3ない議会(修正しない、提案しない、公開しない)を、改革したいと願ってやみません

◎選挙運動費用として岩美町選挙管理委員会に提出した収支報告書の概要です。詳細は HP の2020.

11.30「実際の選挙費用など」を参照願います

○(平成30年7月2期目)

収入 297,971円(杉村宏負担 253,971円等)

支出 297,971円

人件費 106,000円、印刷費 17,320円、
広告費 98,848円、食糧費 75,686円等

○(平成26年7月1期目)

収入 710,056円(杉村宏負担 660,056円等)

支出 710,056円

人件費 197,000円、印刷費 62,640円、
広告費 239,180円、文具費 49,382円、
食糧費 149,944円、雑費 11,910円

◎政治団体の収支報告(概要)です。

毎年年度末までに前年分を鳥取県選挙管理委員会に報告しており、県HPで公表されています。なお、収入は各年とも杉村宏本人の寄付です。

○令和2年分 収入支出とも 101,210円

機関誌印刷 84,770円、宣伝広告費等

○令和元年分 収入支出とも 118,056円

機関誌印刷 84,480円、HP運用等

○平成29年分 収入支出とも 190,780円

機関誌印刷 76,280円、調査研究費10万円等

○平成28年分 収入支出とも 68,215円

機関誌印刷 30,236円、調査研究費等

○平成27年分 収入支出とも 59,978円

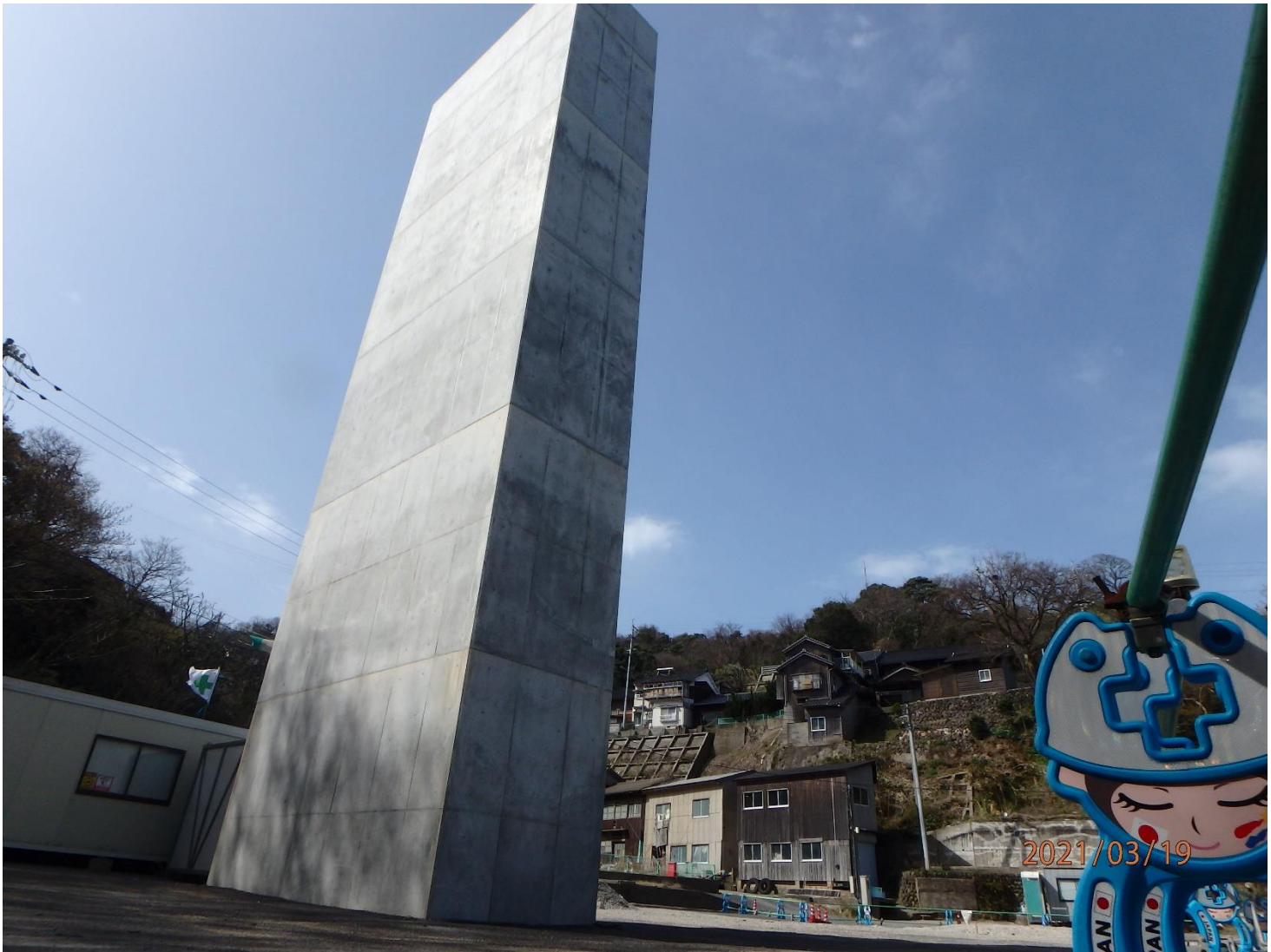
機関誌印刷 52,078円、書籍購入等

○平成26年分 収入支出とも 327,644円

パンフレット作成費等 196,020円、
立て看板作成・設置費 123,000円等



(R3.3.23 旧東浜小前浜のサンドバック(県施工))



2021年3月の1枚 R3.3.19 県道網代港停車場線(田後工区)橋梁下部工事の橋脚

(田後地区の才谷(さいだに)の浜側(北側)に橋脚ができていて、びっくりして、今回の1枚といたしました。)

鳥取県のHPより

事業の概要

事業名『県道網代港岩美停車場線(田後工区)道路改良事業』

種類 道路の整備

場所 岩美郡岩美町田後

規模 幅員W=5.5m(9.5m)、
全体計画延長L=368.8m

期間 平成28年度～平成35年度

目的 県道網代港岩美停車場線は、現在の道路が狭小であり緊急時や災害時の車両通行に支障を及ぼしている。一方、山陰海岸ジオパークが「世界ジオパークネットワーク」に加盟認定されたことを受けて今後、地域の観光拠点となる道路として地域の活性化を図る道路とするものである。

地元の方の声

「この橋は、地区民にとって、昭和30年代後半から50数年来の念願がかなう橋です。漁協に降りる三叉路の改良も含めて、大型車両の通行が可能となり、いろいろな可能性ができてきます。田後の賑わいづくりに貢献してもらいたい。期待しています。」



(R03.03.19 工事の看板です。)

E/L13 P11

「読者の声」前号投函の2020.10.19～11.5の間に頂きました。そのままの掲載です
(この間の全部(配布方法等は除く)です。毎月、前月分をHPに掲載しています。公人は氏名等明記。)

- ◎(路上で)もらっとうか。いつも楽しみにしとるだで。がんばってな。
- ◎なにくぱりようる？町内会？ああ、自分のか。やせた？役場の時はもつと肥えとったと思うけど。

(どのようなお立場でも、広報活動を承知いただけているなら、ありがたいことです。)

- ◎次の町議会選挙に新たに出る人がいるけど、怠けもんで、地元の信頼がなく、考えないけん。次の県議会議員選挙に出る人がいるけど、勉強してないし、県職員からもバカにされている。これも、考えないけん。岩美町の評判をさらに落とすだけだ。あんたがもつと頑張らないといけん。

(今年11月町長選挙、来年7月町議会議員選挙、再来年の23年4月県知事・県議会議員選挙)

- ◎ご苦労さん。さっそく読ませてもらいました。頑張ってください。
- ◎岩美町は1次産業だ。経済波及効果を考える人がいない。頑張って。
- ◎日本と中国、日中だけではなく、台湾、日台の交流をつくるべきだ。町長は日台の交流は興味がないと返事した。

(来る者こだわらずの姿勢が大事。ただ、国際交流の主は国で、町には、限界があります。)

- ◎議長交際費を論じられないのは疑問ですね。町長交際費についても記述の通り同感です。是非、モルゲンロート続けて発行して下さい。

(HPのモルゲンロート2020.10.30に、町長交際費の考え方や経過等を掲載しています。)

- ◎(いぶかしげに見られていましたが、本誌を見て表情が笑顔になり)いつも読んでいます。頑張っています。

- ◎(近づいて行くと、名乗っていないのに)あ、杉村さんだ。ご苦労様。(隣に座っているお年寄りに)これ読むと、ようわかるで。

- ◎何号になった？12号か。ご苦労様。紙がいいから、写真がきれいだ。

- ◎頑張っておられます。いつも読ませてもらっています。

- ◎こんなことを、みんなが、せないけん。あんたは、ようがんばってる。いっぺんも発言していない議員がいるらしい。考えないけん。

- ◎あんたの頑張りは、よう承知している。なにをしようるだわからんひとが、ようけおる。

- ◎(岩美チャンネルの)テレビを見ていると、よくわかります。

- ◎いつも、丁寧に、ありがとうございます。

- ◎モルゲンロート12を読了させて頂きました。様々な町行政を知り、感謝致します。今後とも、よろしくお願い致します。(御葉書)

- ◎(就職経緯を説明したうえで)謝罪しろ。(モルゲンロート12を)回収してまわれ。訂正記事を直ちに掲載しろ。(2020.11.5、杉村宏宅に訪問した柳正敏岩美町議会副議長の発言趣旨。参考:HPの20年5月28日、12月1日)

- ◎「読者の声」は、読者の意見としているが、掲載した編集者に責任がある。共同通信の記事を用いて掲載した新聞の編集に対し、掲載した新聞編集の責任を認めている。これは、最高裁の判断だ。(杉村宏宅に上記の副議長とともに訪問した田中克美町議会議員の発言趣旨。参考:HPの20年12月1日)

- ◎令和2年10月25日の網代漁港での「サプライズ花火」は、我田引水で、公私混同だ。別の場所で行うべきだった。

【モル13 P12】

編集後記 前号に引き続いて、少しばかり、紙面のリニューアルを図りました。ページと写真を増やし、紙面を明るくする方向です。文字も少し大きくしました。

写真のスペース確保や文字を大きくしたことで、記事内容を削減したことになりますが、詳細は、ほぼ毎日、なにがしらかの記載や更正を行っているHP(1面右肩のアドレス)に譲ります。

また、一般質問の(問)と(答)とを記載していましたが、今回はその結果を題といたしました。

記事の内容は、世間の常識が通用していない岩美町議会、岩美町行政の実態を是正しようと杉村宏議員が奮闘しているのですが、暖簾に腕押しで、どうしても明るくできません。もっと、わかりやすく、大幅な紙面刷新が必要ですが、お伝えしようとする題材自体に、明るくならない原因があります。

「号外の春巡る毎疼く傷」

(=^・^=)🐼

クイズの答は、江戸時代。時代劇に、サルスベリ(百日紅)はあまり登場していない印象です。

モルゲンロートは、朝日が高峰の頂きよりあたり始め、明るいオレンジ色に輝く様です。杉村宏が高校総体で早朝の南アルプス北岳の輝く姿を觀て感動し、明るい今後でありたいとの想いから誌名としています。



(R3.3.15 大山の山頂 HP アルバムより)